

宇美町

エコトリコ

(2018年広報3月号)



今年の節分は楽しめましたか？豆まきは全国でも古来からの行事として定着していますが、近年では「恵方巻をその年の吉方位に向かって、笑いながら食べる」ことも定着してきました。その一方で売れ残った【恵方巻】が大量に廃棄されていることが問題となっています。近年、日本国内では、まだ食べられる食料品の廃棄量が増え続け、現在は年間約632万トンが廃棄されています。その内一般家庭から出される、いわゆる生ごみは302万トンで、この量は日本人一人当たり毎日お茶碗一杯分(約136g)のご飯を捨てていることになるそうです。国連の食糧援助機関が飢餓状態にある地域の人々への一年間の食糧配給量が約320万トンだそうです。我々は、実にもったいないことをしていると思いませんか？食事の前に料理をしていただいた方への感謝の心を込めるのに合わせて、その食材の命をいただくことになるのだから「いただきます」と発してから食事をするのです、と聞いたことがあります。福岡市では「食事を残さないようにしよう」という完食運動を、テレビコマーシャルなどにより展開しました。ご記憶にありますか？

量の削減を図ることはCO₂の削減にもつながります。町では、生ごみを焼却処理はしていませんが、家庭から出る生ごみが削減され、堆肥として再利用できるようにするための【コンポスト】の購入補助金制度があります。特に家庭菜園で栽培された無農薬野菜を楽しむ方々には、肥料代の節約にもなります。栄養だけでなく愛情もいっぱい込められた食材作りにお役立てください。お得に入手できますので、詳しくは環境課にお問い合わせください。お待ちしております。



文責 福岡県地球温暖化防止活動

却処理されています。この生ごみ焼却

推進員 竹吉 栄隆